

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者	新井 国師	連絡先	8507
平成18年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋 誠司
平成19年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋 誠司
事務事業名	市民健康まつり委託事業（新磯公民館）					
予算上の事務事業名	公民館活動費（本課分）					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	16230		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します					
基本施策名	第2節 郷土意識づくりの推進					
施策名	第3施策 相模原らしさの創出					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市市民健康まつり事業委託要綱						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分				▼	5 事業開始年度	▼
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
市民一人ひとりがスポーツや体力づくりに親しみ、地域での交流を通して健康づくりの輪を広げることにより、心身ともに健康な生活を目指す場とすることを目的とする。					新磯地区在住の市民約 12,000人	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
新磯公民館市民健康まつり実行委員会による事業実施 6月25日（日） 新磯小学校体育館で体力測定、健康測定、軽スポーツ等を行った。 参加者 61名						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
類似事業としては、地域保健課が実施する「健康づくりのつどい」（講演会や体験コーナー等）がある。 また、現状の事業内容と類似するものとしては、「健康運動塾」、「健康ウォーキング」等がある。（公民館、健康づくり普及員協議会と共催）						
8 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	27	95	90	90	90	
一般財源	27	95	90	90	90	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	48	121	121	121	121	
事業コスト合計	75	216	211	211	211	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	市民健康まつり委託事業			対象名称 と単位	参加者（人）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	75	216	211	211	211	
対 象 数	27	138	61	150	150	
単位あたり経費（円）	2,778	1,565	3,459	1,407	1,407	
前 年 度 比		0.56	2.21	0.41	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	参加者（人）	指標式と指標の説明	事業参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	27.0	138.0	61.0		
目標	30.0	150.0	150.0	150.0	150.0
目標達成度（%）	90.0	92.0	40.7		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	世帯数に対する参加者率（%）	指標式と指標の説明	事業参加者数/館区内世帯数*100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.6	3.0	1.3		
目標	1.0	3.0	3.0	3.0	3.0
目標達成度（%）	60.0	100.0	43.3		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		多くの地域住民が参加できるよう、平成17年度からハイキングに替えてつどいな催しに事業内容を変更したことにより、事業の参加者が増えたが、平成18年度は天候の影響により、参加者が少なかった。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
<p>今後は、地域住民の要望を踏まえ、体験コーナー等の個々の催しを増やすことを検討していく。</p>			<p>参加者を増やすための個々の催しについて、検討する必要がある。</p>		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			